

骨 膿 瘍

(臨床講義)

(昭和三年十月一日)

教授 醫學博士 鳥 潟 隆 三 述
助手 醫學士 神 部 信 雄 記

患者。○島○之助。五十四歳。漁業。

遺傳の關係。父ガ胃腸障礙デ死シタト云フ他ニ特ニ述ベル程ノコトハナイ。

既往歴。二十五歳頃ニ排尿時ニ尿道ニ沿ヒテ疼痛ヲ訴ヘ外尿道口カラ膿ノ出ルコトガ約一ヶ月位アツタガ併シ鼠蹊部ノ腫脹、發疹、嘔聲(コヘガレ)毛髮脱落等ニ氣ヅイタコトハナイ。酒ハ嗜マナイガ、煙草ハ月ニ四十匆位喫ム。

現在症。十歳ノ頃ニ家根カラ落テ足ヲ打タ事ガアツテカラ約半月後ニ、突然全身倦怠、惡寒ヲ訴ヘ、二、三日デ右側大腿下端ニ疼痛ヲ訴ヘ、更ニ一、二日後此ノ部ガ廣ク發赤腫脹シ疼痛ガ甚シカツタガ、約半ヶ月後ニ外側及内側各一ヶ所ガ自潰シ濃厚ナ膿汁(色ハ記憶セズ)ヲ出シテ輕快シタ。ソレ以來排膿ガ續テ居タガ放置シテ居タラ、約四年後自然ニ小サナ腐骨ガ出テ排膿ハ自然ト止シタ。コレ以來ハ此ノ部ガ自潰排膿シタリ、又瘻ヘタリスル事ヲ屢々繰返シテ居タガ(二十二歳頃カラ四十二歳頃迄ハ外觀上全ク瘻テ居ル様デ排膿ハナカツタ)本年ノ一月ニ同所ガ又々發赤腫脹シ數日後ニ切開ヲ受ケタガ、其翌日切開創ノ上部ガ更ニ自潰排膿シタ。ソレ以來臭氣アル膿汁ヲ今日迄漏シテ居ル。食慾ハ良好デ、便通ハ一日一行、安眠スル。

教授「現在症ニ御聞ニナツタ様ニ惡寒ト共ニ高度ノ發熱ガアリ、時ニ精神朦朧トナル位デ、尙且局所ノ變化、即此ノ場合ニハ右大腿下端ガ疼痛性ニ發赤腫脹シタト云フ事ニヨツテ何ヲ考ヘマスカ。」

學生「急性傳染性疾患。」

教授「無論ソウデスガコノ場合ニハ・・・」

學生「骨髓炎。」

教授「ソレ丈デハマダ完全ナ答ヘデアリマセン。」

學生「急性化膿性骨髓炎デス。」

教授「ソウデス。ツマリ外傷ニヨツテ抵抗薄弱部 (Locus minoris resistentiae) ヲ生ジ從テ其ノ部ニ病原菌ガ定着シテ發病シタモノデ、先ヅ發現スルノハ惡寒發熱デアツテ丁度「腸窒扶斯」ノ様デモアルカラ骨「チブス」トモ云ハレマス。元來「チブス」(Typhus) ナル語ハ「霧」(Nebel) ノ意味デ發熱ガ強ク、患者ノ精神ガ霧ノカ、ツタ様ニ「ボンヤリ」トナルカラ云フノデアリマス。」

教授「ソレカラ四年後ニ小サナ腐骨ヲ出シテ一ト先ヅ、排膿ガ止ンダト云フ事デアリマスガ、急性化膿性骨髓炎ニヨル瘻孔ガ自然ト閉鎖シテ治癒スル事ガアリマスカ。……アリトスレバ、一體ドンナ場合デショウ。」

學生「……………」

教授「急性化膿性病變ガ骨髓ヲ犯シタモノガ自然ニ治癒スル事ガアリマセウカ。」

學生「アリマセン。」

教授「ソウデス。一旦急性化膿性病變ガ骨髓ニ迄及ベバ自然ニ治癒スル事ハ先ヅアリ得マセン。ソレデハ此ノ例デハドウ云フ處ニ病變ガアツタノデショウ。」

學生「……………」

教授「ソレハ病變ガ骨髓ニ初發シタルニ非ズシテ最初唯ダ單ニ骨膜下ニノミ止リ、爲ニ所謂 Cortical Necrosis 即チ骨ノ極ク表面ニ近ク腐骨ノ薄片ヲ生ジ、コレガ自然ニ排出サレテ治癒シタト考フベキデアリマス。カ、ル骨膜下ノ病變モ亦骨髓炎ト云ヒ得ラレルノハ、骨膜ニハ骨髓 (カンビウム層) ガアルカラデ、コレガ感染シテ化膿性一破壊サレルト其ノ部分ノ骨質ニ表在性ノ腐骨ガ出來テ即チ茲ニ Cortical Necrosis ヲ生ズルノデアリマス。」

此ノ最初ニ於テ先ヅ骨膜下ニ發端シタ急性化膿性炎症ハ其後ニ於テ二ツノ方向ヘ擴ガリマス。一ツハハーヴェル氏管ヲ通過シテ骨髓腔ニ達シ其所ニ化膿ヲ起シマス。他ノ一ツハ早期ニ骨膜ヲ壞死ニ陷ラシメ筋肉間、筋膜、皮下結締織等ヲ經テ表面ニ現ハレテ來マス。此ノ患者ハ比較的早期即一、二日ニシテ大腿軟部ノ發赤腫脹疼痛ヲ訴ヘテ居リマス。此ノ事實ハ即チ最初發生シタル病變ガ骨髓腔ニ在リシニ非ズシテ骨膜下ニ初發シソレカラ皮膚ノ方ヘ化膿性炎症ヲ波及セシムルニ至ツタコトヲ示スモノデアリマス。」

教授「ソレカラ又、今日ニ至ルマデ屢々再發シテ居ルノハ大腿ノ軟部ニ其ノ根源ガアルノデハ無クシテ骨ノ所々ニ殘テ居ル肉芽中ニ病原菌ガ潜伏シテ居リ全身性又ハ局所性ニ抵抗力ガ衰ヘタ機會ニ乗ジ菌體ガ活動ヲ始メル爲デアツテ、病原菌ハカ、ル場合、膿膿性黃色葡萄狀球菌ガ多ク、コウ云フ狀態ヲ *Staphylococcus-Dépot* ト云ヒマス。ツマリ此ノ患者デハ十歳ノ時ニ先ヅ急性化膿性骨膜下炎症ヲ來シ病變ノ進行シタ一ツノ經路ハ表層ノ軟部組織デ、他ノ一經路ハ骨髓腔デアツテ、此ノ骨髓腔ノ化膿竈中ニ在ル黃色葡萄狀球菌ガ四十五歳ノ今日迄三十五年間モ絶滅サレズニ此ノ部ニ潜伏停留シテ居ツテ、時々急性炎症ヲ起シ再發ノ觀ヲ呈シタモノデアリマス。」

教授「病歴ヲ聞テ知リ得ル事ハ先ヅ以上ノ様ナ事柄デアリマスガ、サテ、現症ハドウデアリマセウ。先ヅ一般所見カラ申シマセウ。．．．」

學生「體格ハ中等大デ、骨格及筋肉ノ發達ハ良好、皮下脂肪纖ハ削減シテ居マセン。淋巴腺ノ腫脹ハ何處ニモ觸レマセン。脈搏ハ正調デ一分時約八十、大サ、緊張ニ異狀アリマセン。頭部ヤ顔面ニ變ツタ所ナク、胸部ニ於テ心臟ノ濁音界ハ正常デ、心音ハ第二肺動脈音ガ少シク亢進シテ居リマス。肺ニハ打診上ニモ聽診上ニモ著變ナク、腹部ニモ異狀ハ認メラレマセン。」

教授「次ニ局所ノ所見ハ．．．」

學生「右大腿外側中央ヨリ以下四頭股筋外緣ニ沿ヒ約廿浬ノ舊イ癰痕ガアリマシテコノ部ハ凹ンデ居リ、其中央ニ當ツ

テ一ツノ瘻孔ガアリマス。」

教授「瘻孔周圍ノ表皮ガ……ドウナツテ居マスカ。」

學生「……………」

教授「瘻管ノ中ヘ迄ヅット表皮ガ入り込デ居リマス。コウ云フ瘻孔ヲ……………」

學生「Lippenfistel (唇狀瘻孔) ト云ヒマス。」

教授「ソウデス。Lippenfistel ハ治癒ノ傾向ノ強イコトヲ示スモノデ、コレガアレバ結核性デモナク、微毒性デモナイコトガ明白デアリマシテ急性化膿性炎症ヲ起ス病原菌ニ因ルモノデアリマス。」

教授「此ノ際瘻孔カラ帶綠黃白色ノ膿ガ少シ許リ出テ居リマスガ此ノ様ナ膿ハ黃色葡萄狀球菌ニヨルモノデアリマス。之ニ反シ連鎖狀球菌ノ場合ハ膿ガ稀薄デアリマス。結核性ノ膿ノ定型ナルモノハ……………」

學生「多ク漿液性デ其中ニ乾酪樣片絮ガ混ジテ居リマス。」

教授「瘻孔ニハ帶綠黃白色ノ膿ノ外ニ何カ見エマスカ。」

學生「何モ見エマセン。」

教授「若シ見エレバ何ガ見エル筈デスカ。」

學生「……………」

教授「ソレハ肉芽[○]デス。モシ瘻孔カラ肉芽ガ顔ヲ出シテ居リ、ソシテソレガ健康ナル肉芽ニ近イナラバ其ノ所見ハ即チ瘻孔ノ深部ニ剔出サレルコトヲ待ツテ居ル大キナ腐骨ノ在ル證據デアリマス。(Nekrose ハ骨ガ一ツノ大キナ片トシテ壞死シタルモノ、Karies ハ骨ガ多クノ細粒片トシテ壞死シタルモノナリ。前者ハ急性化膿性骨髓炎ノ場合ニ見、後者ハ骨結核ノ場合ニ見ル。)」

教授「消息子デ間接觸診ヲ行ツテ見ルト……靜ニ送入シテ出血ノ有無ヲ見マスト……………」

學生「出血シテ來マセン。」

教授「瘻孔カラ消息子ヲ深ク入レテモ少シモ出血シナイト云フ所見ハドウ云フ意味デスカ。……モシ健康ナ肉芽ガアレバ……」

學生「健康ナ肉芽ガアレバ消息子デ容易ニ傷キマスカラ、容易ニ出血シマス。」

教授「ソウデス。今此ノ場合ニ出血ガ無イト言フコトハツマリ健康ナ肉芽ガ奥ノ方ニモ無イ事ヲ意味スルモノデ眼デ見ヘナイノミナラズ消息子デ搜ソテモコレヲ證明シ得ナイト言フ事ニナリマス。ツマリ此ノ奥ニハ《健康ナル肉芽ヲ増殖セシムベキ》腐骨片ガナイト言フ診斷ニ歸着致シマス。腐骨ガナイトスレバ、コノ場合ノ主ナ病的狀態ハ前ニ申シマシタ *Suppurative-Jokoken-Depot* デアリマス。即チ骨髓腔ノ何處カニ病的肉芽ノ間ニ *Suppurative-Jokoken* ガ潜伏シテ居ル洞腔ガアルノデアリマス。即チ此ノ患者ノ現在ノ所見デハ骨膿瘍 (*Knochenaabszess*) ノ狀態デアリマス。」

教授「治療法ハドウシマスカ。」

學生「切開シマス。」

教授「十分廣ク切開シテ潜伏セル病原菌ヲ病的肉芽ト共ニ除去シ健康ナル肉芽デ底カラ充填サレル様ナ方針ヲ取りマス。」

手術所見。癰痕上ニ於テ軟部ニ切開ヲ加フレバ瘻孔ニ對スル大腿骨下端ニ小指頭ヲ送入シ得ル位ノ瘻孔アリ。コレヲ鑿ヲ以テ開大スレバ大腿骨下端骨髓腔ノ部ニ當リテ大ナル洞腔アリ。大サ丁度鶏卵ヲ入ル、位ニテ内面ハ帶黒汚灰色惡臭アル肉芽ヲ以テ被ハル。コレヲ把抓スルニ腔内ニ於テ骨端ニ當ル部ニ小豆大ノ脆弱多孔質ノ腐骨片一個ヲ肉芽ト共ニ取出セリ。他ニハ何處ニモ腐骨 (*Sequestrum*) ヲ認メザリキ。病原菌ハ培養ニヨリテ膿性、黃色、葡萄狀球菌ナルコト立證セラレタリ。(終)